



国際ロータリー 第2570地区 熊谷南ロータリークラブ

KUMAGAYA SOUTH Rotary Club of Saitama RI Dist. 2570

会長●棚澤正行 幹事●渡邊藤男
例会場●ホテルガーデンパレス 熊谷市佐谷田3248-1
TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153
http://kumagaya-south-rc.com/ E-mail ksr@kumagaya-south-rc.com

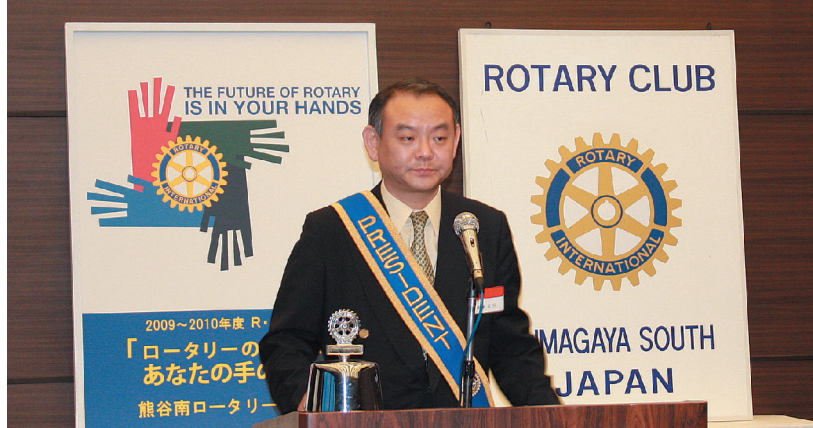
2009.7.15 No.558



国際ロータリー
2009-10年度 会長
ジョン・ケニー
国際ロータリー第2570地区
2009-10年度 ガバナー
加藤 玄静

会長挨拶

棚澤会長



IT化を推し進めています！動画にもチャレンジしてみます！

幹事報告

渡邊幹事

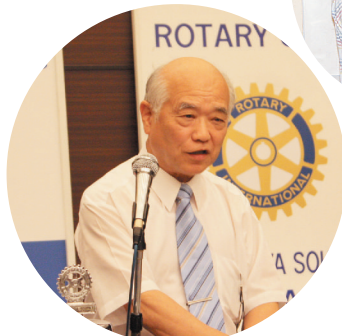


もう、梅雨明けだそうです！暑くなりました！

委員会報告



米山奨学委員会 島崎委員長
米山奨学セミナーに参加してきました！予想より楽しかったです！外国からの奨学生は、日本人に対し鋭い意見を持っています。



職業奉仕・社会奉仕委員会 岡本委員長
熊環連の第一回目の会議に参加してきました！南RCの関わりについて色々考えさせられました。



ホッとする加藤SAA



親睦委員会 奥田委員長
7月29日の納涼例会、ふるって参加下さい。

本の日プログラム TODAY'S PROGRAM

7月15日(水)

点 鐘	棚澤正行会長
ロータリーソング	「我等の生業」
食事タイム	
会長挨拶	棚澤正行会長
幹事報告	渡邊藤男幹事
委員会報告	
米山奨学委員長	島崎会員
職業・社会奉仕委員長	岡本会員
親睦委員長	奥田会員
ニコニコBOX報告	高田会員
クラブ協議会 パート2	
親睦委員会	奥田委員長
出席・ニコニコ委員会	高田委員長
プログラム委員会	李委員長
会員増強委員会・会員選考・職業分類	委沢委員長
会報・広報 (IT) 委員会	植竹委員長
職業・社会奉仕委員会	岡本委員長
国際奉仕委員会	佐川委員長
米山・奨学委員会	島崎委員長

☆各人の発表内容は、Webでお読み下さいませ

出席
報告

例会日
7月15日



webをご覧ください

会員数	出席	欠席	MU	出席率
27	16	11	0	59%

クラブ協議会パート2

今回は各委員会の委員長より発表して頂きました！



親睦委員会 奥田委員長

はじめての事ばかりで、とまどいばかりです！皆様のご協力をお願いします。



出席・ニコニコ委員会 高田委員長

一人の出席率が3.7%です。
出席無くしてニコニコも無いです。



プログラム委員会 李委員長

会員が出席したくなる様な
プログラム作りを考えていきます



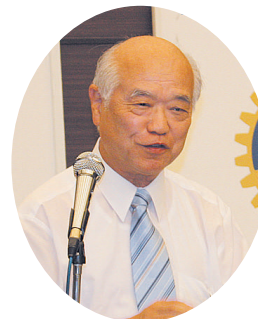
会員増強委員会・会員選考・職業分類 菱沢委員長

各RCの会員数30名が基準になりつつ
あります！南RCも30名目指したいです。



会報・広報委員会 植竹委員長

会報の発行は予想以上に大変です。
前任の島崎会員に脱帽です！



職業奉仕・社会奉仕委員会 岡本委員長

各会員からの卓話等
あったら良いかも…。



国際奉仕(新世代)委員会 佐川委員長

国際交流を通じ
貢献したいです。



米山奨学委員会 島崎委員長

楽しくやりたいです！
米山奨学2名お願いしたいです！



いつも見守るバナー

第3回例会会長挨拶

会長 棚澤 正行

まずは報告から

7月12日（日）に米山奨学の部門セミナーに島崎委員長と行ってまいりました。

詳しくは委員長より報告があると思いますが、ガバナーの挨拶の中でこの地区のスタート人数が1856名ということ報告されていきました。地区幹事は1900名で予算書を試算していたそうです。

日本RI米山の副理事長に金子パストガバナーが、評議員には加藤ガバナーがなっている為どこの地区よりも早く情報が入ってくるそうです。

そのお話の中で、星崎電気より一億円、一般の方より遺贈による二百万円、RIの衣笠さんより遺言による一千万円、また元米山留学生（北京）から二年連続五十万円ずつ、中国の留学生から十一万二千元、米山に寄付を頂いたそうです。

米山を見習い台湾RCでは日本向けの留学制度を作ったそうです。

「陰徳を積むとは陰で良い事をするという意味ですが、今はどんどんPRする時代です、いい広報から入会に繋がると考えて下さい。」「陰ですればいいんだらうという人は陰では絶対しません。」と強調しておりました。また、留学制度の変更として、国や地域の制限をしなくなり、ベトナムでの現地採用は無くなりました。

次に目玉の留学生の三分間スピー

チがありました。その中で三名程面白い話をする学生がいて、その内の一人の金さんにぜひ卓話をしていただこうと考え島崎委員長と名刺交換をしてきました。米山月間を目標に卓話のスケジュール調整をしたいと考えております。

続きまして当クラブのIT化について少し御話させていただきます。

皆さんインターネットで当クラブのHPを御覧頂いているでしょうか？今後HPを有効利用し動画も掲載していこうと考えております。

動画を活用する事の一番のメリットは、動画で残すことにより原稿の回収という作業が無くなります。請求する側もせっかく気持ち良く発表して頂いた方にも嫌な思いをさせたくないのと考えてみました。

卓話者、発表者に原稿をお願いしても準備されていないという事が多く、メールで原稿を下さいとお願いすると嫌な顔をされてしまうという現実があるからです。また、もう一つのメリットとして例えば例会に欠席したとしてもHPから動画を見ることによりお話を聞けるという事があります。これはあくまで例会に出なくていいということではなく、たまたま仕事と重なり例会での卓話を聞き逃した方へのフォローという事です。

試しに今回のクラブ協議会パートⅡの委員長の発表を載せてみたいと思います。勿論これは元会員のHPを作っている川岸さんに御協力を得て当初の見積もり額の中でやっていた

だけるようになっております。

会員の皆様には今年度はパソコンに慣れ親しんで頂きたいと考えている次第でございますのでお客様の卓話は承諾を頂き動画で HP にアップしてみようと考えております。

いろいろと試行錯誤で試していますが、何卒ご協力の程宜しく願いたします。

また、セミナーの帰りに他クラブの方たちと立ち話をしてきました。

派閥等の難しい問題を抱えているところも多々あるみたいです。

当クラブは、会を良くするために討論することや、今までの先人たちのやり方を時代に合わせながら継承していくための討論はあると思います。

しかし、派閥という事は私がおめでたいせいか感じたことはありません。

派閥等の心配のない我が南 RC の会員であり、会長という重席を預かせて頂いている事に感謝し、精進していきますのでご協力よろしく願いたします。

以上

委員会報告

「第一回米山奨学部門セミナー」

米山奨学委員長 島崎次弘

7月12日(日)に東松山「紫雲閣」にて開催された第一回米山奨学部門セミナーに棚澤会長と出席致しました。当日の参加者は110名以上と地区の予想を上回る参加者だったようです。

当日は午後一時半開会の後、天鐘、ソング斉唱と続き加藤玄静ガバナーの挨拶、地区諮問委員の梅沢定彦パストガバナーの挨拶、ロータリー米山奨学会で現在副理事長を勤めていらっしゃる金子千持パストガバナーの挨拶と続き、石川嘉彦パストガバナーから危機管理委員会の活動報告がありました。

続いて全体会議に入り、大沢衛部門委員長から「今年度米山奨学部門の方針と活動について」のお話がありました。

日本のロータリークラブは1995年から97年にかけてが会員数の最盛期で全国で13万人の会員がいたそうです。その頃は米山の寄付金も20億円を超え、受け入れの奨学生も1000人以上いたそうです。現在の会員数は全国で約94,750名と減少してしまい、現在の受け入れ奨学生は全国で800名だそうです。その中でわが2570地区は全国35地区の中で上から11番目と検討しているとのこと。今年度は地区の会員数が前年度より

減少してしまったにもかかわらず、前年度より一名多い 24 人の米山奨学生を受け入れるので頑張りたいとのことでした。要するに皆さんも頑張っ
て寄付をお願いしますということです。

また、米山奨学生を卒業して学友となり、母国へ帰って仕事に励んでいる人からもお世話になった米山奨学会に役立てて欲しいと恩返しの寄付をしてくれる学友もいるそうです。中国の北京に戻った学友から去年、今年と 2 年間に渡って 50 万円づつあり、また別の中国人の学友からも 11 万円の寄付を頂いたそうです。いい話だと思いますが、お世話になった奨学会に職業で成功したり、安定した職業に付けたのなら、恩返しの寄付はもっとあってもいいんじゃないかとも思いました。

米山奨学生につきましては、発足当初から本来「救貧型」の援助を目的に活動がされて来ましたが、本人の本当の経済状況を調べるのはなかなか困難なところがあり、本人に自主申告してもらうにも、プライバシーや個人情報の問題があり、また正直に自主申告がされてきたかという疑問が常に付きまとってきました。それで 1998 年に従来の「救貧型」の援助から「知的貢献型」へと方向転換がなされました。そのため奨学生の国割りを見ると、いつも一番多いのが中国、続いて韓国、台湾と偏ってしまうが、ご理解頂きたいとのことでした。

尚、今年度の 2570 地区の受け入れ奨学生の国別はやはり中国からが一

番多く 7 名、次に韓国が 5 名、台湾が 4 名、ベトナムが 3 名、モンゴル・インドネシア・タイ・ネパール・フランスから各 1 名の合計 24 名となっております。

続いてセミナーのメインイベントとも言える出席した奨学生全員の 3 分間スピーチが行われました。24 人の奨学生全員が出席義務のはずが 5 名の欠席が出て、大沢衛部門委員長から、セミナー参加は奨学生とカウンセラーは必須（必ず出席しなければならない）事項になっている。他にもいくつかある必須事項も含めて出席をおろそかにする者は奨学金の差し止めもしますよ、という厳しい苦言も呈せられました。

ともかく出席した 19 人の奨学生全員がアトラダムに指名を受けて順番に 3 分間スピーチを行いました。これがそれぞれの個性が活かされたスピーチで大変面白く時間の長さを感じさせませんでした。

情報ネットワークを勉強に来た人、住宅における省エネルギーなど環境デザインを勉強してる人、環境にやさしい電気自動車を研究に来た人など様々な目的を持って来日しておりますが、特に中国の若者で環境問題の重要性を認識している人も増えたようで、環境先進国の日本で学んで将来の職業に役立てたいという意欲を持った人がたくさん米山奨学制度で勉強できるのは大変いいことではないかと感じました。

また、お国の話をする人もあり、モ

ンゴルの奨学生はちょうどいまモンゴルではモンゴル最大のお祭りである「ナーダム祭」の最中で、独立記念日のお祝いやモンゴル相撲が行われており、モンゴルの仲間たちと祝杯を上げて胸が熱くなっていると話しました。ネパールからの奨学生は隣の町（といってもかなり離れているようですが）から仏陀＝お釈迦様が出たんだと言い、それにまつわる話でした。インターネットを使った教育システムを研究しているという韓国の奨学生は勉強も大事だが、それ以上に日本の満員電車はミステリアスで理解できないそうです。ギュウギュウ詰めの満員電車にさらに駆け込んで飛び乗った人がいて、片方の靴をドアに挟まれてしまいました。そしてホーム側に落ちてしまった靴を車掌が拾い上げ、ドアを開けてその人目がけて投げつけて見事その人がキャッチしたという、なんだか訳の分からない奇跡のような光景を目の当たりにしてビックリしてしまい、いまだに日本人と満員電車のことが不思議で分からないと言っていました。また、インドネシアの奨学生オオキ・ミユキさんは、日本人がとてもブランド好きであるということに興味を持ち、それが不思議でひそかに研究しているそうです。彼女の意見では、日本人は自分自身の価値観を持っていない、あるいは持てないがために、良いもの、金額の高いものという共通認識の出来上がっているブランド物を求めて皆と同じものを所有していることで自分の価値観を

保とうとしている、という鋭い指摘をしていました。彼女自身は、自分の価値観は自分の生き方で決まるもので高額のもので補おうとするのはおかしいと思うと話していました。私たちは開発途上国から奨学生を招いて日本の進んだ技術や科学を教え与えていると思っていますが、私たちもまた彼らから見られ評価されているのだと改めて気を引き締めなければならぬという思いがしました。

外交辞令もあるでしょうが奨学生全員がカウンセラーや受け入れクラブの皆さんに本当の家族のように接してもらって本当に感謝していると言っており、また、学校や周りの人も親切な人が多く日本人はやさしいと言ってくれたのには少しほっとしましたし、カウンセラーはじめ関係各位の気配りご尽力に心よりご苦労様とねぎらいたと思います。

親睦委員会 委員長 奥田尚幸

親睦委員からのお知らせです。

7月29日、棚澤年度 納涼例会が午後6時よりホテルガーデンパレスにて飲み放題、食べ放題で行われます!!

参加予定人数が若干14名です。当日参加でも対応いたしますので皆さんの参加よろしく願いいたします。

社会奉仕委員会委員長 岡本庄一郎

南ロータリー社会奉仕委員会として

去る 7 月 12 日午後 1 時よりムサシトミヨ保護センター会議室において、熊谷の環境を考える連絡協議会（略称熊環連）の総会に出席してきました。当会に 6 月 1 日付けで NPO 法人（特定非営利活動法人）となり栗原会長もこれ迄以上に環境問題に積極的に取り組むたいと語っていました。

熊環連の年間の主な事業内容

- ・ 荒川水系の水質調査
- ・ 市民 2 万人を巻き込んだの 1 日環境家計簿
- ・ くまかんれんの広報誌の発行
- ・ 荒川河川敷の清掃
- ・ 資源回収
- ・ 環境保全に係わる普及活動(映写会等)
- ・ 環境指導員の育成

総会終了後、「ムサシトミヨの現状」と題して埼玉県環境科学国際センター自然担当部長の金澤光氏が講演された話の中で、ムサシトミヨに対する県の取り組み方、又熊谷市の取り組み方が少々違い、ズレているなと思った。ただ両者とも真剣に取り組んでいるだけに、南ロータリーがどこまで入れるか、疑問を感じた。今迄のように小学校へ行き、越夏調査を眺めているだけ、又は、ムサシトミヨの講演を聞いているだけでは何のお役にも立たないと思った。当ロータリーとして何

を為すべきか、これからの大きな課題だと思う。

クラブ協議会

出席・ニコニコ委員会

委員長 高田直樹

棚澤年度、出席・ニコニコ委員長でお世話になります高田です。

会長方針に従いまして委員長としての任務を遂行して参りたいと思いますのでご協力よろしくお願い致します。

出席・ニコニコ委員会はすべのてクラブの会員がロータリーの会合に出席することを奨励し負ければなりません。特に本クラブの例会への出席が出来ない場合、他クラブへの例会への出席を奨励し、全会員に出席規定を周知し、出席向上のための奨励策を講じなければなりませんし、この事は細則規定にあります。現在の熊谷南 RC では「あなた一人の出席」が、3.7%のシェアを持っております。昨年度 50% 強の平均出席率ですと、毎回、例会への出席者は 13.14 人程度という事でしたが、出席率 60% 台へ向上するためにはあと 3 人の方の出席を頂ければ出席の向上につながって参ります。

又、出席なくしてニコニコはありえません。ぜひご出席いただいてニコニコへの投函も宜しくお願い致します。

国際奉仕委員会

委員長 佐川順一

今年度の当クラブ国際奉仕委員会は新世代委員会と兼任ということで、以前よりハードになったのかなという気がします。ロータリークラブをひとつの山にたとえますと、クラブ奉仕・職業奉仕部門が基礎底辺の裾野の部分だとすれば、国際奉仕部門は山の頂にあたる、と言われています。この部門がそれだけロータリーの対外イメージとして重要な役目をはたしているということです。

国際奉仕部門の今年度の大きな柱

- 1) 人的交流の継続
 - ① 青少年交換留学生の募集・協力
 - ② 日豪青年相互訪問の募集・協力
- 2) W C S (世界社会奉仕)
 - ① 地雷被害者支援
 - ② 里親制度の協力支援以上 皆様のご協力をお願いします。

米山奨学委員会

委員長 島崎次弘

私も米山奨学制度のことは良く分かりませんでしたので私自身勉強しながら取り組みたいと思っています。日曜日のセミナーでは改めて米山奨学制度の実績と意義を実感してきました。今年度の目標の一つ目として、

先程の委員会報告のように米山奨学会や地区の取り組みを、例会での発表の場でなるべく詳しく皆さんにお話したいと思います。

二つ目として 10 月の米山月間に予定している米山奨学生を招いての卓話では、先日の研修会で奨学生全員の 3 分間スピーチを聞いて、棚澤会長と私が共に「この人^{キム ジェグン}がいい」と目をつけました韓国の金在根さんとカウンセラーの寄居クラブの方と名刺交換をして口頭で卓話のお願いをしました。詳しい日程はお互いの都合を調整して、正式な依頼をする時に詰める予定です。彼は大変明るい性格のようで、日本人の本音と建前が分からずに大失敗した話で会場を大爆笑させていました。きっと皆さんを飽きさせないお話をしてくれると思いますので、卓話の時はぜひ聞きに来て下さい。

最後に米山功労者の件ですが、会長の本当の希望は 3 名、30 万位を達成したいそうですが、活動計画書にも書いたように今は会員の皆さん全員が大変厳しい経済状況の中におりますので、米山奨学制度を維持していくためにも無理をして金額を積みますよりもまずクラブとして無理なく継続していくことが重要と考えています。米山功労者 2 名、20 万を目標にして人選は会長と相談して皆さんにお願いしたいと思っています。自ら手を挙げて功労者になって頂ける方がいれば理想ですが、いない場合は、基本的にクラブ在籍の長い方でまだ米山功労者になっていない方を人選してお願いしたいと思っています。

ます。その方にはその時はよろしくお願い致します。

プログラム委員会

委員長 李一孝

今年は棚澤会長のカラーを存分に発揮していただき、会長方針に則りプログラムを考えていきたいと思っております。また各委員長さんとの連携もスムーズにしたいと考えています。また皆様からリクエストがあれば検討します。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

会報・広報 (IT) 委員会

委員長 植竹知子

今年度の会報発行は、棚澤会長の意向で、ペーパーレス、IT 化ということで、例会時、回覧にて見てもらい、web 上で読んでもらう形式に変わります。但し内容はきちんと記録として残すことにします。実際、第一回目発行しましたが、予想以上に大変な為、紙面は、写真とメッセージでまとめ、文章はその下にはりつける形式にしようと思います。又、活動は対外アピール、手法は新聞等へのプレスリリース、そして、会員増強を目的に入会案内を作成することで月初の理事会で承認されました。



高田委員長

棚澤正行会長・渡邊藤男幹事

いや～暑いぞ熊谷ですね！梅雨が明けたそうで、お祭りも近いし、皆様風邪等ひかないようにがんばって乗り切りましょう。

加藤博会員

暑いですね。本日は、今年の方針パートⅡ、何が出るか楽しみです。ですけど、途中で早退します。よろしくお願い致します。

菱沢利行会員

棚澤年度の3回目の例会に参加しています。会長・幹事の活躍に敬意を表します。

岡部俊之会員

梅雨も明け、早速暑つ———でもこんなもんじゃすまないぞう。

佐川順一会員

皆様今晚は。今日は大変暑く、つらい思いをしましたね。これから一ヶ月、熊谷の暑い夏が続きます。こまめに水分・栄養補給をして、体力低下に気を付けて乗り切って行きましょう。

榎本信哉会員

お暑ございます。皆様体調を崩さないようお気をつけ下さい。

植竹知子会員

人とのふれあいエピソード集に、榎

本先生より「やさしさ」の原稿を書いて頂きました。とてもいい話なので、皆さん読んで下さいネ！ついでに千年桜の写真ものっています。

奥田尚幸会員

7月29日の納涼例会へのみなさまの御参加よろしくお願い致します。

高田直樹会員

梅雨が明けて、いよいよ本格的な暑い熊谷になってきました。皆さん体に気を付けて乗り切りましょう。本日もご投函ありがとうございます。